

あッ!

—多久で見つけた— No.3

まちなひと



社名 Beauty space VeLe
住所 多久市北多久町メイプルタウン
氏名 岡 里央菜 (29歳)
営業時間 10:00~18:00
定休日 日・祝日
電話番号 080-3966-5622
コンセプト お肌・毛穴の悩み解決します

Q.起業したキッカケは

A.エステでリフレッシュして、自信を持った女性を増やしたいと思って。

Q.多久の好きな所

A.街全体が熱くなり、一体感を感じる「多久山笠」が大好きです。

Q.多久市に望むこと

A.若者がよろこぶ、チェーン店が出店するような活気がある街になってほしい。

Q.更なる夢

A.多久の農産物を使って、オーガニック化粧品を開発したいです。

一言メッセージ

お客様の状態に合わせて、オーダーメイドで施術します。



論語大学⑥

「学習」という日常的なこの言葉は、実は論語の冒頭に出てくる「学びて時に之を習う」という章から出来上がった熟語である。さて、孔子が言う「学習」の学という字が示す内容は、人間の生活を豊かにし、便利にする学問も含んでいるが、それよりもっと大切な学問、すなわち、社会的動物である人間が、真に融和した社会を創る土台となる心—恕や敬や礼や仁などを養う学びであった。さらに「学習」の習の意味は「繰り返し羽を動かして飛ぶ」という意味である。つまり「学習」とは「恕、敬、礼、仁」といった大切な心を行動として表せるまで、何度も繰り返し行い、努力していく。そうすることによって、人間社会共同の平和が維持され、喜びと幸せがある…と孔子は言っている。多久の先輩たちは300年以上も昔、孔子の願いを継ぐべ



▲孔子像
 (「孔子行状図解」より)

く、東原厩舎や聖廟を建て、土農工商が平等の立場で激しく、それを学び習った。その成果として「文教の地・多久の里」の名は四海におよんだ。しかし、その名声は過去のものとなりつつある。経済的豊かさや生活の便利さのためには、目の色を変えても、こうした「恕、敬、礼、仁」の心の大切さを学び、そして習うのに、どれだけのがんがみが必要なのだろうか。こうした人間の尊厳と平和を大切に、せめて、敬をもって礼をつくす生活。せめて挨拶を交わし合う里としてよみがえらせていきたい。行き会った時、見知らぬ人たちへも笑顔で、挨拶を交わし合う自分、家庭、郷土でありたい。

「学習しよう」

論語大学について

かつて、私たちの郷土・多久は先人たちの努力により佐賀藩内はもちろん諸藩に先駆けて邑校・東原厩舎、そして聖廟を建立。この地に「文教の里」を作り上げた。今一度、私たちは先人たちの血のにじむような努力を思い起こし、その実行に努めるべきではないでしょうか。その願いを込め、元学校長 故・不二見達朗氏が30数年前に多久市報に連載寄稿した論語解説を復刻するものです。

